

Webinar

Theme

その菌、本当に「生きて」いますか？ —「存在する菌」から「生きている菌」へ—

開催日時

参加無料

2026年10月29日(木) 14時~15時

配信方法: ZOOMによるライブ配信

概要

16S rRNA遺伝子解析などのDNAベースの菌叢解析で検出された菌は、本当にすべて「生きている菌」なのでしょうか。

一般的なDNA解析では、生菌由来と死菌由来DNAを区別することが難しく、検出された細菌叢と実際に生存している細菌叢との間に大きな差がある場合があります。特に、殺菌・加熱・保存などの処理前後を比較する研究や、微生物の生存状態を評価する研究では、この違いが結果の解釈を左右します。

本ウェビナーでは、生菌を選択的に捉える「生菌群集構造解析」を用いて、通常の細菌叢解析と結果がどのように異なるのか、実際の検体を用いた解析事例を交えてご紹介します。

「検出された菌が本当に生きているのかを知りたい」

「殺菌や保存などの処理が細菌叢に与える影響を評価したい」

「生菌選択的な細菌叢解析を検討しているが、自分のサンプルに適用できるか分からない」

このような課題に対して、生菌群集構造解析で何が分かるのかを解説します。

ウェビナーのお申込みは
こちらから

CLICK!



申込・お問い合わせ先

株式会社ファスマック 遺伝子検査事業部

TEL: 050-1723-3007 ✉ gmo@fasmac.co.jp

株式会社ファスマック
ホームページはこちら ▶